

第4章 区民会議フォーラム

1 第1回区民会議フォーラム「循環型のまち・生ごみリサイクル」

これまで区民会議で行なわれた調査・審議経過を区民の皆様へ報告してご意見をいただくとともに、ごみ減量に向けた取り組みについて区民の方々が自ら考え、行動するきっかけとなるように、上記テーマで第1回区民会議フォーラムを開催しました。

(1) 開催概要

日時：平成23年9月25日（日）

午後1時30分～4時30分

場所：麻生区役所4階 第1・2会議室

参加者：105名（生ごみ肥料「みどりくん」進呈）

プログラム

- ・区民会議報告
- ・川崎市の生ごみの現状とその取り組み（環境局減量推進課）
- ・講演（講師：NPO 法人大地といのちの会理事長 吉田俊道氏）
- ・各取り組み団体による事例発表

（すぎのこ保育園、福祉施設はぐるま工房、新あさお生きごみ隊、
（株）小田急ビルサービス）

展示ブース：JA セレサ川崎（麻生区の農産物、明治大学黒川農場資料）、環境局、区民会議

同時開催：生ごみリサイクル相談会、ロビーでの写真展、地元野菜の直売会（JA、はぐるま工房）



<吉田氏の講演>「生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る

～免疫力集中力アップ。食で変わった!究極の元気っ子たち～

生ごみ成分は土の中に微生物とミネラルを増やし、土の中の微生物は、地球の命の循環を担ってくれている。生ごみリサイクルの土で栽培した野菜は、虫がほとんど来ない、栄養価も高くおいしい、元気な野菜となる。大地も食べ物も人間も根本でつながっている。もう一度、大地に元気な土を取り戻し、大地の生きる力とつながって、いのちをいただく食育を広め、人間も元気になろう。そのためにも、生ごみリサイクルの活動をぜひ展開してほしい。

<各事例発表>

① 食育と堆肥化の実践報告（すぎのこ保育園）

子どもたちの堆肥づくりの取り組み。給食で生ごみがでない献立の工夫。
（皮や成長点まで食べてしまう）

② 生ごみ堆肥を使った野菜づくりの実践（福祉施設はぐるま工房）

利用者の生活支援として農作業を実践。生ごみの堆肥化や富士通（株）川崎事業所から提供された生ごみ肥料を活用した野菜、花苗などの栽培。

③ 川崎市生ごみリサイクル活動助成金を活用した取り組み（新あさお生きごみ隊）

生ごみの堆肥化によるごみの減量、農家への堆肥提供による地域内資源循環、農家との交流の実践など。

④ 小田急グループの液状飼料化の取り組み（株式会社小田急ビルサービス）

グループ企業などから食品廃棄物を回収し、異物除去・破碎・殺菌の後、発酵処理により液体状のえさを製造。そのえさを活用した養豚の実施。

(2) 参加者アンケートの集計結果 ※52名の方からアンケートの回答をいただきました。

1 開催をどちらでお知りになりましたか。

項目	回答(人)	割合(%)
市政だより	9	17.3%
チラシ	9	17.3%
ホームページ	2	3.8%
知人	14	26.9%
その他	1	1.9%
無回答	0	0.0%

(その他)…郵便、メール、FAX、職場

2 「区民会議報告」はいかがでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
よく理解できた	13	25.0%
理解できた	28	53.8%
少し理解できた	8	15.4%
どちらでもない	1	1.9%
その他	1	1.9%
無回答	1	1.9%

(その他)…生ごみアンケートの最終報告が聞きたかった。／保守的だと思った。／第1期、2期からの発展的な命題ということがあまり伝わってこなかった。

3 「川崎市の生ごみの現状とその取り組み」はいかがでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	9	17.3%
参考になった	30	57.7%
少し参考になった	7	13.5%
どちらでもない	3	5.8%
その他	1	1.9%
無回答	2	3.8%

(その他)…現状と課題が理解できた。／補助金を出すだけでなく、将来生ごみのリサイクルをどのようにしていくのかご検討ください。／経済効果をあわせて教えてほしい。生ごみリサイクルには賛成だが、税金を投入すべきか、今のところ説得力に欠け賛同できない。／市政としてのごみ減量の取り組みが弱いような気がする。

4 「吉田俊道氏の講演」はいかがでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	41	78.8%
参考になった	7	13.5%
少し参考になった	0	0.0%
どちらでもない	1	1.9%
その他	3	5.8%
無回答	0	0.0%

(その他)…元気が出てくる。／吉田先生の話、大変参考になりました。楽しく、これからも生ごみリサイクルがんばろうと思います。／吉田先生の講演は大変わかりやすく理解できました。もっと多くの方々に広げていけたらと思います。／有機肥料で育てた野菜を増やすならば下水堆肥を化成肥料よりも安く農家に供給する方が効果的ではないか。／面白い講演内容だが、話のポイントが区民のニーズに合っているか疑問です。

5 各団体からの事例発表はいかがでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	17	32.7%
参考になった	22	42.3%
少し参考になった	4	7.7%
どちらでもない	0	0.0%
その他	1	1.9%
無回答	8	15.4%

(その他)…すぎのこ保育園の活動はすばらしい。／事業ごみ(賞味期限切れ食品など)をどのようにリサイクルして活用しているか教えてもらえてよかった。／活動情報の区民との共有化が尚一層求められる。／全ての団体すばらしかった。／仕事のことだと問題点など言わないから全て信じるわけにはいかない。／すぎのこ保育園の最後のバケツ洗いのあと、その水は下水に流さず植物にあげていますか？
⇒今後実施する予定(すぎのこ保育園)



6 展示コーナー（展示ブース・写真展）はいかがでしたか。

項目	回答（人）	割合（%）
大変参考になった	8	15.4%
参考になった	16	30.8%
少し参考になった	13	25.0%
どちらでもない	3	5.8%
その他	1	1.9%
無回答	11	21.2%

（その他）…生ごみ堆肥で育てた植物が元気なのがわかった。



7 どんな取組（活動）に関心がありますか。

項目	回答（人）	割合（%）
環境	39	75.0%
美化	11	21.2%
文化芸術	10	19.2%
防犯	6	11.5%
防災	12	23.1%
高齢者支援	12	23.1%
子育て支援	20	38.5%
その他	5	9.6%
無回答	7	13.5%

（その他）…里地里山に関すること／魅力ある街づくり／自分一人のできる取り組み／緑地、自然を守ること／医療

（その他 自由記述より抜粋）

- ・クチコミという観点から、小中学生のお母さん世代の委員を導入することを提案します。若い世代の意見を反映、取り入れることも、これからの区民会議を発展させるうえで有効と考えます。
- ・区役所の会議室でこのような有益で楽しい話が聞けるとは思わなかった。これからもこのような講演を続けて欲しい。
- ・もっと区民の関心を集めるようなテーマを取り上げてほしい。フォーラムへの参加者の大半が関係者のような人達では、区民会議の意味がない。
- ・中原区から参加しましたが、まとまりのあるフォーラムでした。
- ・今回の内容は、大変参考になりました。3月の里山フォーラムでダンボールコンポストを知り、始めてから半年になりました。
- ・生ごみリサイクルは、なかなか広がらないと思っていますが、3.11から厳しい状況におかれてしまいました。吉田俊道さんの講演を聞いて、これを人々が自覚して、世を変えていくべきと思います。食糧の危機の前にも肥料の高騰があるかと予想しますが、生ごみリサイクルそして食糧を自分で作る事が進展してほしい。区民会議の成果が見えにくいので、今期は、ぜひよい成果を期待します。
- ・生ごみから堆肥を作ることをアピールしていくことをお願いします。町内・マンションなどに設置していただき、やり方の指導もお願いしたいです。
- ・家庭用生ごみ処理機の実物で、使用方法と注意点を説明してもらえれば、より具体的に理解できるのでは、と思いました。生ごみリサイクルへの市民1人1人の取り組みと、組織的な取り組みの両面で今後一層かつ大切な事であると感じました。
- ・ネーミングが固い。身近に感じない。区役所との関係がはつきりしない。



第2回区民会議フォーラムは、第3期の全体テーマ「人と人と心をつなぐ地域づくり」のもと「地域での絆づくり」に焦点を当て、人間関係の希薄化の現状を捉えたNHKスペシャル「無縁社会」を担当されたディレクターの講演と、「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」を実践されている町会、区社会福祉協議会、地域包括支援センターの方をお呼びしてのパネルディスカッションを企画、開催しました。当日は活発な質疑応答や意見交換が行われ、区民の方々と一緒に「地域での絆づくり」について考える有意義な機会となりました。

(1) 開催概要

日時 平成24年3月3日(土)

午後1時30分～4時30分

場所 麻生区役所4階 第1・2会議室

参加者 83名

プログラム

- ・区民会議報告
- ・講演(講師:NHK 首都圏放送センター特報首都圏チーフプロデューサー 板垣淑子氏)
- ・パネルディスカッション
(新百合ヶ丘自治会 樋口誠氏、麻生区社会福祉協議会 足立真氏、
柿生アルナ園地域包括支援センター 菊池裕子氏、区民会議 石井郁朗氏)



<板垣氏の講演>

「地域での絆づくりについて考える～無縁社会と地域でささえあう関係づくり～」



「縁」には血縁・地縁・社縁(仕事の縁)の3つが想定されます。それぞれの縁が薄れ、失われつつある中、“無縁社会”という言葉が生まれました。近所に身内もなく孤独死した人が“行旅死亡人”として身元不明の扱いとなる件数は、年間3万2千人に上ります。また、取材を通して、身内がない人が使う遺品整理や埋葬代行、病院で手術を受ける際の保証人代行、一人暮らし相手のお話相手サービス、などのビジネスがあり、他人に迷惑をかけたくないという一人暮らし高齢者の思いなどが

見えてきました。さらに、マンションで一人暮らしをする住人2人がお互いの生存を毎日確認し合えるサインを作ることで、安心感や日常生活の明るさを取り戻した事例の紹介は、反響も大きかったです。私達は今、改めて“繋がり”の大切さを認識しつつ、この“無縁社会”を生きていかなければならないということを強く感じさせる講演内容でした。

<パネルディスカッション>

「地域の絆づくり～ささえあい活動を進めるためには～」

① 活動紹介

(新百合ヶ丘自治会) …防犯・防災研究会を立ち上げ、各種パトロール、防犯ネットの運用などを実施。隣近所で要援護者を支援する形を作り、その強化を図っている。

(区社会福祉協議会) … 地域住民主体の組織として子育て支援、高齢者・障がい者へのサービス、ボランティア振興を行っており、今後も各団体と様々な形の連携を推進。

(柿生アルナ園地域包括支援センター) …

高齢者サービス中心。週1回のイベント、地域サークルやサロンへの参加、まちかど相談会を実施し、積極的な連携を図っている。

(区民会議の調査から補足) …

ヒアリングを行った「グッドネイバース」「柿の実会」「さしす」「岡上町内会」「千代ヶ丘町会」の取り組み事例を紹介。各活動団体が抱える課題として、メンバー不足と高齢化、民間との競合などを説明。

② 意見交換 「各団体間の連携した取り組みの可能性などについて」

- ・各団体活動の重複部分の統一化、情報共有を図るも、情報共有におけるプライバシー保護（個人情報保護）の問題が壁となっており、法の整備などが必要ではないか。
- ・サロンの情報把握で連携強化を図り、他機関と一緒にやる姿勢はあるがなかなか実らない。
- ・広報活動をしなくても必要な方に情報が届いていない現状が課題としてある。 など

③ まとめ

講師から施設間の連携がうまくいった事例の紹介があり、「無縁社会を乗り越えるため、皆で連携して取り組み、大きなうねりになりたい」とまとめて締めくくられた。

<全体を通じて「当日の参加者からの質問と回答から」>

- Q. 文化・芸術分野の「文化担当官を設置したい」という提案について、行政などに委託せず既存の民間団体の利用はできないのか？
- A. 行政以外も十分考えられると思う。但し、芸術文化に関する情報を総合的に把握している必要がある。
- Q. 新百合ヶ丘自治会では、「要援護者」への「支援者」はどのように決めているのか。
- A. 班とは別に1軒ずつ当たって確認している。今後は支援者の講習会などを開催したいと思う。
- Q. 行政に何かを求めるよりも、結局、地域でしか見守っていけないのではないのか。一人よがりの方もいるが、何かあった場合は結局誰かの助けがいる。団体ごとの連携強化が必要で、地域の足元を固めていくことが必要ではないか。
- A. 民生委員、町会、区社会福祉協議会、行政…それぞれが持つ情報も含めた、すべてを網羅した情報を管理している所はない。その現状を各所と連携しながら改善していきたい。

(2) 参加者アンケートの集計結果 ※31名の方からアンケートの回答をいただきました。

1 開催をどちらでお知りになりましたか。

項目	回答(人)	割合(%)
市政だより	3	9.7%
チラシ	16	51.6%
ホームページ	1	3.2%
知人	5	16.1%
その他	5	16.1%
無回答	1	3.2%

(その他)…アクティブセミナーでの案内、区社協、町会、区役所、保健福祉センター

2 「区民会議報告」はいかがでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
よく理解できた	7	22.6%
理解できた	11	35.5%
少し理解できた	10	32.3%
どちらでもない	1	3.2%
その他	1	3.2%
無回答	1	3.2%

3 「板垣淑子氏の講演」はいかかでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	21	67.7%
参考になった	3	9.7%
少し参考になった	1	3.2%
どちらでもない	1	3.2%
その他	4	12.9%
無回答	1	3.2%

(その他)…孤独死について社会的な大きな問題で、とても重いです。法的な縛りで進まないところは、法の改正が必要だと思えます。孤独死という社会的な現象ですが、若者が結婚し子育てをしやすい状況をつくるのが大事です。／最後は1人になってしまいますので、きずなの大切さを考えさせられました。

4 「パネルディスカッション」はいかかでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	8	25.8%
参考になった	9	29.0%
少し参考になった	5	16.1%
どちらでもない	2	6.5%
その他	1	3.2%
無回答	6	19.4%

5 展示コーナー(展示ブース)はいかかでしたか。

項目	回答(人)	割合(%)
大変参考になった	1	3.2%
参考になった	14	45.2%
少し参考になった	12	38.7%
どちらでもない	3	9.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	3.2%

6 どんな取り組み(活動)に関心がありますか。 (複数回答可)

項目	回答(人)	割合(%)
文化芸術	10	32.3%
高齢者支援	26	83.9%
子育て支援	13	41.9%
防犯	5	16.1%
防災	12	38.7%
環境	9	29.0%
美化	4	12.9%
その他	6	19.4%
無回答	0	0.0%

(その他)…献血／地域活動の全て／自治会活動／町づくり／絆づくり／見守りの活動

(その他 自由記述より抜粋)

- ・「地域の絆づくり」というフレーズに惹かれて参加しました。各グループはテーマを掲げてよく考えられていて、感心しました。次のステップとしては、横の繋がりを持って、面として活動するというのでしょうか。
- ・区民会議の役割として、本日出ていた「ハブ機能」や「コーディネート機能」が考えられると思います。区内全体を見渡した取り組み、地域間での温度差を少なくしていくような啓発などにも期待します。
- ・麻生区は市内でも一番農地が残されており、生ごみリサイクルモデル事業は、この農地への還元という点を考慮に入れてはいかがでしょうか。農業への理解を高め、「食」への関心も高まります。
- ・情報弱者を作らない努力をお願いします。
- ・区内では地域の方々が様々な活動をしているのですが、その活動を関連付けて大きく伸ばしていけたら素晴らしいと思います。
- ・区民会議からの提言を、今後より有効に継続させるための方向性を検討してほしいと思います。また、区民会議なら分野ごとのネットワークが作りやすいと考えられるので、その取り組みを考えてみてはいかがでしょうか。
- ・新百合ヶ丘自治会の、「要援護者は宝物」として地域の繋がりづくりに活かす防災対策を参考に、今後は震災に備えた自助・共助・公助それぞれの課題について、区民会議でも取り組んでほしい。
- ・今回、「無縁社会」の取材に当たった方の話を聞いて、今の社会のあり方の問題が背景にあることを感じます。グローバル化、自己責任論、企業の利益第1主義、儲け主義、競争社会が、血縁・地縁・社縁を破壊していると思います。根本的な解決は、この社会構造を変えていかなくてはあり得ないと思います。個々人ががんばるしかありません。
- ・包括支援センター、看護師、自治体、ボランティア等の人たちがそれぞれ協力し合って、一人暮らしの高齢者の見守りができるようなネットワーク作りが必要と感じました。

第5章 まとめ

1 提言

● 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり

① 広報活動

- ・市政だより特別号の発行
- ・ガイドブック（保存版）の発行
- ・総合相談窓口の設置
氾濫・散在する情報を整理・統合し、リーフレットとして編集、高齢者・障害者などが利用し易くする。同時に、情報のワン・ストップ・サービス化を推進する。

② 地域の絆づくり

- ・町会・自治会等によるささえあい活動の運用・展開
- ・小地域で見守り・ささえあいを行うための仕組みづくり
- ・地域活動等を通じた地域交流の場の創出
小地域での絆づくりには「お互いに挨拶が交し合える、会話ができる関係にある」ことが前提になる。それには、相互に顔を合わず多様な機会の設定が望まれる。

③ 担い手の発掘と育成

- ・「生涯学習推進会議」の設置目的の明確化
- ・区の地域人材育成の指針を策定検討
- ・「（仮称）成人学級推進委員会」の新設
- ・シニアの地域デビューの企画を有効活用



④ その他

- ・高齢者の交通手段の確保に関する行政の支援
- ・「コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク」が機能するための取り組みの検討



● 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり

① 文化担当官の設置

- ・子供から大人まで多くの区民がさらに芸術・文化を楽しめる体制づくり
- ・区役所においても区民としっかり結びつき、継続した文化行政を実施する体制づくり
- ・地域の芸術・文化団体との連携や幅広い地域情報の収集と発信を進めるための、調整・相談機能

② （仮称）麻生文化会議の設置

- ・地元の芸術家や団体等とのネットワーク強化
- ・周辺施設との連携拡大、区民・行政・学校・団体間の顔が見える関係づくり
- ・年間を通じた情報発信、相互協力。横断的な組織として活動情報をつなぐ



③ 川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用

- ・広告幕、のぼりや立て看板、出店制限などに関する関係者を交えた協議
- ・美しい整然とした街並みと芸術文化催事の「にぎわい」が共生したまちづくりの検討



実践的な「芸術・文化のまちづくり」へ

● 循環型のまち・生ごみリサイクル

① 麻生区主催の「生ごみリサイクル講習会」を定期開催

- ・市の生ごみリサイクルリーダー派遣制度の活用
- ・麻生区廃棄物減量指導員連絡協議会などと連携



② 写真展の継続実施

- ・「生ごみからできた堆肥・肥料でつくった花や野菜の写真展」を継続実施して区民への浸透をめざす
- ・募集方法（写真の大きさ）や展示方法の工夫を



③ 区独自の広報を

- ・「生ごみ減量・資源循環」の普及・啓発
- ・「ごみを減量させたい」という強い意志と広報の工夫
- ・区独自で身近な実践例紹介などの広報
- ・「ごみ減量特集」などを作成し、より効果的な広報活動の検討を

④ 市民農園に優先枠

- ・各家庭での生ごみ自家処理（堆肥化）を進めるうえで、市民農園の借用条件に生ごみ使用者優先枠を



⑤ 「仮・あさお広場（ファーマーズマーケット）」の定期開催

- ・作った堆肥を農産物と交換できるシステムの構築
- ・市民と農家が直接つながるファーマーズマーケット
- ・循環型のまちづくりを区全体で目指す

● グリーンアップ・里山ボランティア

① 地域に限定されない

里山ボランティアの構築

- ・区民・関係機関・行政と協働して、管理の行き届かない緑地を保全管理していくシステムづくり
- ・地域に限定されない、区全体の緑を保全管理していく団体の立ち上げ
- ・地元住民へ管理を引き継いでいくよう、保全管理団体を増やしていくシステムの構築
- ・緑の保全活動を通じた新たなコミュニケーションの場の形成と、地域の絆づくり

② 「麻生区里山ボランティア」事業の推進

- ・平成24年度麻生区地域課題解決型提案事業で取り上げられた「麻生区里山ボランティア」の定着発展
- ・区民会議の調査審議を継続発展する新しい形



第3期区民会議は、継続6名、新規14名、合わせて20名の委員が、麻生区に内在する課題の抽出・分類を行い、その結果に基づき、「地域交流・文化部会」と「環境・緑化部会」の2つに分かれて、それぞれの部会で検討・審議すべき課題選定を行い、その解決に向けて約2年間にわたって真摯な取り組みを行ってまいりました。それぞれの部会で取り上げた課題には多くの問題が内在し、わずか2年という時間は解決するには短かすぎ、積み残しや不十分なものもありましたので、第4期の参考にしていただければと、以下にまとめました。

(1) オリエンテーションの必要性

第3期区民会議では、スタートにあたって、区民会議の概要、前々期・前期の区民会議の取り組み実態や議論の成果の把握等について議論・検討する時間を十分に持つことが出来なかった為、共通認識が醸成されなかった面があります。第4期では、第3期までに検討された課題と提言を委員間で共有し、行政側の対応・考え方などを聞く時間を最初に持つていただきたいと思えます。新たな課題に取り組むのか、これまでの課題を継承するのかを議論したうえで、活動に取り組んでいただくことを期待します。

(2) 他団体との協働

区民会議の活動が区民に浸透したかどうかについては大いに疑問が残りました。区民の皆様に関心と共感を持って貰う為には、市民にとって関心の高いテーマの選定も大切ですが、他の市民活動団体との協働や麻生区町会連合会との連携も大切です。他市民団体との協働、町会・自治会組織との連携強化を図り、区民の認知度を高めて欲しいと思えます。

(3) 地域の身近な課題への取り組み

生活の場である町会や自治会内でのコミュニケーション不足、弱者対策、介護問題などは、今後取り組みが必要な課題ではないかと考えます。各町会や自治会の運営はその地域ごとに様々な事情や考え方がありますが、個人個人ができる小さな取り組みからコミュニティバスや地球温暖化対策のような大きな枠組みなどにも目を向け、広く課題抽出することも大切かと思えます。地域の身近な課題解決に取り組み、自治会の活性化を図り、自助、近助（注：隣近所での助け合い）、共助がうまく機能する自治会組織の構築に寄与するような課題を審議していただく事を切に希望いたします。

(4) 委員の取り組み姿勢

区民会議への委員の取り組み姿勢に関しては、かなりの温度差が見受けられました。会議の回数は部会により異なりますが、可能な限り会合には積極的に参加し、建設的な意見を期待いたします。

区長に提出した提言が1つでも実行され区民に反映されていくことが、委員一同の願いです。提言を報告書にまとめて終わりではなく、きちんと見守っていきたくと思えます。

(第3期麻生区区民会議委員一同)